

6. 資産・施設の有効活用

- ・この取り組みは、市が有する施設を最適な状態で管理運用するための取り組みです。
- ・現在、市民サービスの向上と経費の節減から、施設ごとに指定管理者制度の導入などを行い、一定の効果を上げています。
- ・しかし、公共施設全体を考えると、それぞれ利用形態や稼働状況、建築物の耐久性や耐震性などに課題を抱えています。
- ・こうした課題を整理し、それぞれで対応している施設を、“全庁的な観点”で「資産・施設のあり方」を検討し、“有効活用”を図ろうとするものです。

取り組み
の観点（案）

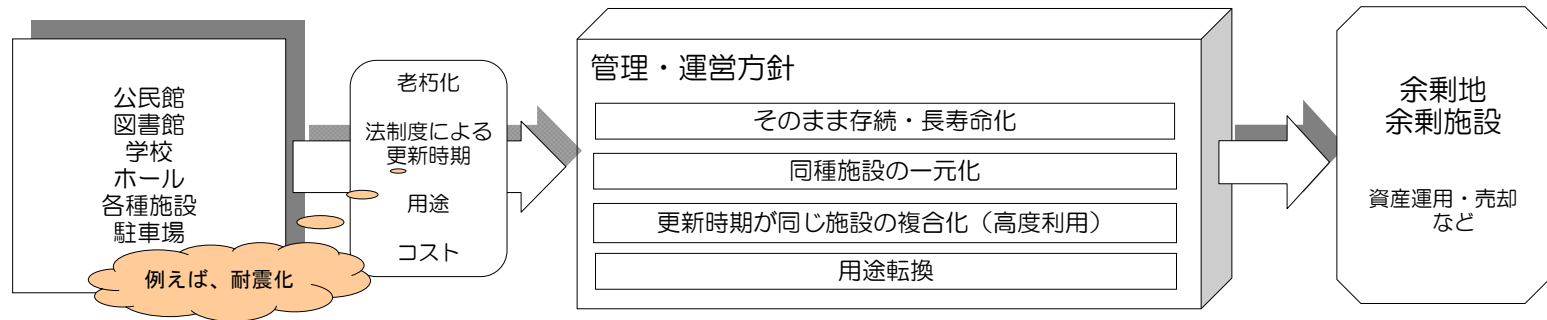
●ファシリティ・マネジメントの導入

など

取り組み
イメージ

ファシリティ・マネジメント

土地、建物、構築物、設備等、すべてを経営上、最適な状態[コスト最小、効果最大]で保有し、運営し、維持するための総合的な管理手法



取り組み項目
の例（案）

◆資産・施設のデータベースの整備と仕分け

各資産・施設のデータベースの整備を行い、それぞれの利用状況や施設の状態、設備等の更新時期を勘案し、効果的な活用や施設数の最適化などを検討。

◆資産・施設の総合運営プロジェクトなどの全庁的な体制の整備

各部局、施設単体での施設管理から広域的な運営への転換で、資産・施設の最適な状態での保有に取り組む。

など